

千曲川・犀川ガイドマップ

# 長野

長野市・千曲市(更埴地区)周辺



## ●このガイドマップについて●

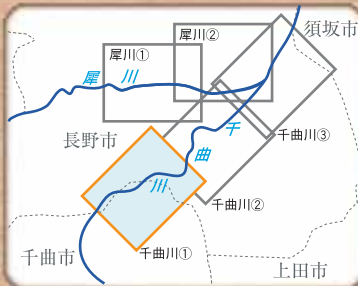
このマップは、千曲川・犀川が流れている地域のみどころ、遊びどころについて、千曲川・犀川を中心にまとめたものです。また、花の見ごろ、イベントなどについての情報も掲載しています。

さあ、このマップを持って、あなたの知らない千曲川・犀川を探しに出かけましょう！



# 千曲川①

ちくまがわ



## みどころ・遊びどころ



### ○長野県立歴史館

古代から現代までの信州の歴史を展示している、体験型博物館。

営業時間＝9時～17時

アクセス＝電車：しなの鉄道屋代駅から徒歩25分

車：長野自動車道更埴ICから国道18号経由、約6分



### ○森將軍塚古墳



### ○あんずの里スケッチパーク

昔ながらのあんずの里の風景を再現。母屋には休憩所やあんずの歴史を綴った展示室がある。

## 花だより

### ○篠ノ井河原のモモ園

河川敷の畑に菜の花、桃、などが四季折々の表情を見せる。空の青を映し出す川の流れの美しさと併せて、春のうららかな気分が高まる。

見ごろ＝5月上旬

# 風林火山ガイド

## ① 妻女山周辺



第四次川中島の戦いの際の上杉軍の本陣。眼下には武田軍の拠点、海津城を見下ろし、武田軍の動きを睨んでいた。

## ② 雨宮の渡し

謙信が武田軍の動きを察知し、明日は妻女山の裏手と前面から挟み撃ちの攻撃を仕掛けてくるだろうと、上杉軍は夜密かに妻女山を降り、雨宮の渡しを渡って対岸へ移った。そして八幡原の武田軍本陣へ奇襲攻撃を仕掛けた。現在は川の流れが北に移った為、住宅地の中に碑が建つのみ。



凡例

新幹線 JR線 しなの鉄道線 長野電鉄線 高速道路 国道 千曲川の起点(0km、長野県・新潟県の県境)からの距離を示しています。 ※散歩時の距離の目安にして下さい。

公園・緑地 グラウンド・マレットゴルフ場





千曲川 篠ノ井橋付近

昔上田市半過の地において大鼠退治のため、唐の国から借りた猫と大鼠が大格闘となり、大鼠が苦し紛れに半過の屏風状の岩をかみ切ったため、上流の湖の水とともに唐猫が流され、下流のこの地でようやくはい上がり力尽きて果てた。唐猫へ感謝しその霊をまつたとの伝説の神社。

唐猫神社

屋代第六区総合グラウンド

川の端にあった金毘羅社・水神・戸隠社祠が堤防築造のため、大正11年(1922)に移転。

南長野運動公園  
長野オリンピックスタジアム

(裏表紙に解説があります。) 嘉永3年(1850)頃、村を水害から守る為、川の流れを南下させようとして築かれた石積み。

昭和17年(1942)小学生の息子を川で亡くした両親が供養の為に祀った地蔵尊。

断崖と川に挟まれ交通の難所であった笹崎に祀られた水神。創建の年代・由来は不詳。

一般道で交通量が多いが歩道有り

VIEW POINT 妻女山から千曲川



松代藩2代藩主・真田信政の御霊屋として長国寺に建てられ、昭和27年に現在の場所に移された建物が本堂。表門とともに県宝に指定。

林正寺 本堂(県宝)

埴科古墳群 倉科將軍塚古墳(国史跡)

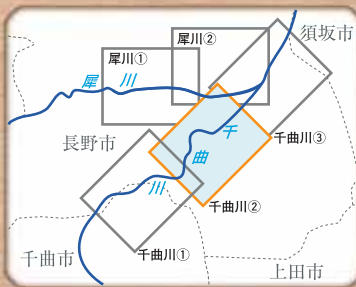
古墳時代前期の様式を有する中期ごろ(5世紀)築造の前方後円墳で、県内屈指の古式古墳である。県内の前方後円墳のうち、最も高所に築造され、丘尾切断方式により、東方に前方部を設けている。

- スポーツ施設
- トイレ
- 明確な駐車場はないが駐車スペースがある
- イベント
- 河原遊びのできるポイント
- 史跡・記念碑等
- 史跡・記念碑等(川の関係)
- 美術館・博物館・資料館
- 天然記念物
- 貴重な自然環境
- 眺望のすぐれた地点



# 千曲川②

ちくまがわ



## みどころ・遊びどころ

### 松代

真田家十代にわたり城下町だった松代は今も松代藩時代の面影をその町並みに留め、武家の格式を伝える屋敷や由緒ある寺社が連なる。文武両道の教えを説き安政2年(1855年)開校の文武学校は、松代小学校の校舎として使われていたこともある。  
**アクセス**=バス:長野駅より約30分/電車:長野電鉄屋代線松代駅下車/車:長野インターから5分

#### ○旧横田家住宅



茅葺きが美しい旧横田家住宅は、江戸後期に建てられたもの。邸内には庭園のほか、菜園や池などがある。

#### ○旧真田邸(新御殿)



江戸時代末期、真田家九代藩主真田幸教が母・貞松院の隠居所として建てたもの。

#### ○長野市立博物館



自然科学・人文科学の両面から長野盆地の歴史、生活を広い視野で紹介する施設として親しまれている。常設展示のほか年に2回の特別展や収蔵展を開催している。

**アクセス**=バス/長野駅より松代行き約20分川中島古戦場下車  
**開館時間**=AM9:00~PM4:30  
**休館日**=月曜日(祝休日と重なる場合はその翌日)

#### ○長野オリンピックスタジアム



# 風林火山ガイド

## 1 八幡原史跡公園



武田信玄と上杉謙信が戦いを繰り広げた川中島にある緑豊かな公園。広大な園内には銅像や市立博物館もあり、歴史を学ぶこともできる。

## 2 胴合橋



敵に打ち取られた山本勘助の首と胴体をつなぎ合わせたところと伝えられる橋。



### 川中島の戦い史跡めぐり

1 八幡原史跡公園	2000m   40分
2 胴合橋	3250m   65分
3 典厩寺	
4 山本勘助の墓	
6 勳助宮跡地	

### VIEW POINT 松代桜づつみ公園



松代桜づつみ公園

松代が生んだ幕末の思想家、佐久間象山が生まれてから29年間を過ごした佐久間象山宅跡、吉田松陰の密航事件に連座の後、塾居の身となった象山が客間・書斎として使用していた高義亭。9年の塾居の後、京に上って構えた家の茶室を移築した煙雨亭がある。

### 凡例

- 新幹線
- JR線
- しなの鉄道線
- 長野電鉄線
- 高速道路
- 国道
- 千曲川の起点(0km、長野県・新潟県の県境)からの距離を示しています。\*散歩時の距離の目安にして下さい。
- 公園・緑地
- グラウンド・マレットゴルフ場



### 3 典厩寺



信玄の弟・武田信繁の菩提寺。戦没者の供養のため建てられた高さ5mのえんま大王像は日本一の大きさを誇る(典厩という寺名は信繁の官位から付けられた)。

### 4 山本勘助の墓



武田方軍師山本勘助の墓。第四次川中島の戦いで「きつつき戦法」の失敗から責任を感じ敵陣に突破して討ち死にしたと言われている。

### 5 松代城跡(海津城)



永禄3年(1560)武田信玄が上杉謙信との決戦に備え、山本勘助に命じて築かせた城。元和8年(1622)には真田家が城主となり以降十代、城を守り続け、現在は国の史跡に指定されている。

### 6 勘助宮跡地



勘助が討ち死にしたとされる地に建てられていた諏訪社(勘助宮)跡地から移設された石碑。



#### 松代史跡めぐり

1 松代桜堤公園 1200m   14分	2400m   48分
2 松代城公園 400m   8分	10 池田満寿夫美術館 100m   2分
3 文武学校 400m   8分	9 真田邸・真田宝物館 400m   8分
4 象山神社 200m   4分	8 旧横田家住宅 350m   7分
5 山寺定山邸 250m   5分	7 象山記念館 500m   10分
6 象山地下壕	

#### ★赤坂橋から松代大橋の河川敷

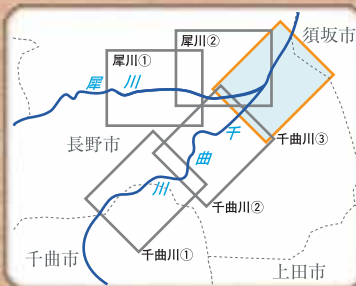
オイカワ、ニゴイ等の魚類をはじめ、ヘイケボタル、ゲンジボタルと言った多くのホタル類が生息。河川敷にはヤナギ類が河畔林として発達し、様々な野鳥が生息している。

松代大橋より上流側を望む



# 千曲川③

ちくまがわ



## みどころ・遊びどころ



### ○サンマリンながの

全天候型のレジャープールで、館内には南国の海を想わせる造波プール、1周170メートルの流水プールなど6つのプールがある。お風呂、休憩室、レストランなども併設されており、アフタースイミングも快適。

住所=長野市松岡2-27-19  
電話=026-221-5535  
開園時間=平日/管理棟9:00~20:00  
プール棟13:00~20:00  
土・日・祝祭/9:00~18:00  
アクセス=バス:長野駅またはバスターミナルより「サンマリンながの行き」または「松岡行き」終点下車徒歩5分  
車:国道18号線長野市上干田交差点より東へ約5分



### ○北野美術館

横山大観、竹内栖鳳、ルノワール、シャガール、ユトリロ、ピカソなど、国内外の大家の絵画、彫刻、工芸作品500点余りを収蔵。庭園作家重森三玲氏の手による庭園も見もの。

開館時間=9:00~17:00(12~2月は9:30~16:30)、月曜休館  
アクセス=電車:長野電鉄屋代線若穂駅から徒歩15分  
車:上信越自動車道須坂・長野東ICから8分

## 花だより

### ○モモの花

サクラよりやや遅れて満開となる。千曲川沿いの一帯が、やや濃いピンクのリボンのように色づく。

見どころ=5月  
場所=長野市~須坂市付近の千曲川沿い



### ★落合橋から屋島橋の中洲・河川敷・巨石水制

水制は堤防、河岸を洪水から守るため、洪水の流れを川を中心の方へはねる働きをもつもので、千曲川では自然になじむよう天然の巨石を使って作られています。



屋島橋上流の巨石水制群(左岸) 屋島橋上流の中洲と巨石水制



水神祠

### 防災ヘリポート

長野市が設置した防災ヘリポート。協定を結び、河川災害発生時等には優先的に活用します。

### サイクリングロード

### 自然石(三郡境の石)

地元の言い伝えでは、この石は高井郡、更級郡、埴科郡の三郡の境を示す石。

### 水天宮碑(築堤工事竣工記念碑)

側帯  
洪水時に水防団等が活用するための非常用の土砂等を備蓄しています。

### 落合運動場

明治15年~16年、県内のコレラ大発生を受け、17年(1884)に勢至菩薩を祀り建立。

### 牛島の輪中堤

千曲川と犀川の合流部のため水害の常習地帯であった集落を守るため「戌の満水」後、松代藩の資金援助により築造されました。



塚本のビヤクシン(長野県天然記念物)



千曲川・犀川 合流地点

### 凡例

- 新幹線
- JR線
- しなの鉄道線
- 長野電鉄線
- 高速道路
- 国道
- 0km 千曲川の起点(0km、長野県・新潟県の県境)からの距離を示しています。\*散歩時の距離の目安にして下さい。

公園・緑地  
グラウンド・マレットゴルフ場





エムウェーブ

**P** 長野オリンピック  
記念アリーナ  
エムウェーブ



リバーフロントスポーツガーデン

道幅が狭く大型車は少ないが、小型車の通行が多い。

スコートの営業時間のみ  
可能(ゲートがある為)  
テニスコート

権現様の愛称で、真  
中社・戸隠社・金比  
羅社・水天宮の4つ  
の祠が並ぶ。

**P** 万年島運動場

**P** 屋島運動場

**P** 千曲川リバーフロント  
スポーツガーデン

**P** 福島グラウンド

若穂  
マレットゴルフ場

**P** 若穂多目的広場



千曲川沿いのモモの花

千曲川治水工事記念碑  
明治36年(1903)、河川敷  
の耕地を守る堤防工事の  
完成を記念して建立。

綿内駅

須坂市

岩崎のイチヨウ  
(長野市天然記念物)



大柳と井上の枕状溶岩  
(長野県天然記念物)



- 交通量が少なめ
- 交通量が多め(歩くのは躊躇する)
- 一般車は通れない堤防道路
- 堤防からの降り口(車)

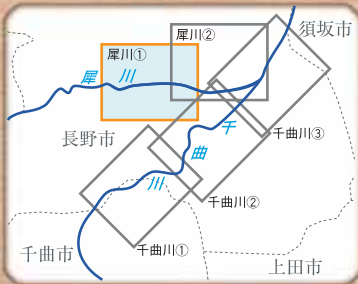
- スポーツ施設
- トイレ
- 明確な駐車場はないが駐車スペースがある
- イベント
- 史跡・記念碑等
- 美術館・博物館・資料館
- 貴重な自然環境
- 河原遊びのできるポイント
- 史跡・記念碑等(川の関係)
- 天然記念物
- 眺望のすぐれた地点





# 犀川 ①

## さいがわ



### みどころ・遊びどころ



#### コムラサキの森

- 🅑 駐車場：なし
- 🅑 バス乗入：不可
- 🅑 トイレ：なし



#### 見学のポイント!!

- コムラサキの生態を学ぶ
- 水辺林の独特な生態系を観察する

コムラサキは日本中に広く分布しているタテハチョウ科の蝶。ただ、この犀川のコムラサキは他のコムラサキには見られない不思議な生態を備えている。その不思議とは「集団でねぐらを持つ」「メスもオスのようにテリトリーを持つ」また、「寒い信州でありながら年に3回羽化する」というもので、今まで知られていたコムラサキの生態と比べると極めて特異なものである。

不思議なコムラサキが発見されて以来、水辺生態の研究者や自然愛好家らの手により生息地の保全・保護活動が行われ、現在、国土交通省千曲川河川事務所ではこのコムラサキの生息地を観察園地「犀川コムラサキの森」として整備し、その生態をつぶさに観察することができる場となっている。



#### ウッドチップ舗装

堤防の補強のため堤防前面に小段盛土を設け、河川管理用通路として利用するため舗装したものです。河川敷内のニセアカシア等の支障木を伐採し、その処分を兼ねてこれをチップ化し舗装材としてリサイクル利用しています。近隣の市民の皆さんから、水辺の自然に親しめる散策、ジョギングコースとして好評です。

#### ★小市橋から丹波島橋の河川敷

植生はヤナギ類をはじめ、ハリエンジュ、オニグルミ、エノキが優占した落葉広葉樹林、またはヨシ原からなっています。

鳥類は、春にコアジサシ、初夏にはコヨシキリ、カッコウ等、秋にはシギ類、冬はカモ類などがみられます。その他、ゲンジボタルなど多くの動物が生息しています。



犀川南運動場より下流側を望む



- 交通量が少なめ
- 交通が多め(歩くのは躊躇する)
- 一般車は通れない堤防道路
- 堤防からの降り口(車)



小田切ダム



犀口の水神

安政6年(1859)年12月着工、文久元年(1861)年竣工。天狗淵上流から取水した水を、龍宮淵の岩石を繰り抜いて通した繰穴堰の記念碑。

松本盆地を潤した犀川は、小田切ダムにいったん蓄えられ、長野盆地へと流れ出す。その源に川中島平を潤すための堰口に置かれた水神が祀られている。文政4(1821)年頃には、「堰祭り懸かり」として毎年この祠を中心に水神祭りが行われていた。



- 新幹線
- JR線
- しのの鉄道線
- 長野電鉄線
- 高速道路
- 国道
- 0km 千曲川との合流点からの距離を示しています。 ※散歩時の距離の目安にして下さい。
- 公園・緑地
- グラウンド・マレットゴルフ場



### コムラサキの森におけるアレチウリ駆除

コムラサキの生息に悪影響をあたえるアレチウリについて、千曲川河川事務所では平成5年にコムラサキの森」において駆除活動を立ち上げ、以来「長野県水辺環境保全研究会」主催として事務所職員に一般ボランティアも加わり毎年駆除活動を実施しています。



正覚院の名前より窪寺観音の名で知られているこの寺は、天台宗月林寺の跡という。天安2年(858)に慈覚大師が開いたと伝えられ、寺の創始は非常に古い。のち衰微していたが、元和年中(1615~1624)良秀が正覚院から移って再興し、真言宗にあらためたという。



犀川第一緑地

**正覚院** 卍  
木造伝観音菩薩立像 (県宝)

弘化年(1847)善光寺地震の翌年、嘉永元年(1848)に復旧の為の堤防工事が行われ、竣工の祝いと治水を願い建てられた石碑。

**犀川神社**

国役大神碑  
石祠

安茂里運動場

犀川南運動場

犀川南マレットゴルフ場

裾花マレットゴルフ場

犀川第一緑地  
マレットゴルフ

コムラサキの森★

伏見稲荷大明神  
石仏



伏見稲荷大明神

JR鉄橋下流の犀川高水敷に有る神社です。このあたりは犀川扇状地の口元にあたり、むかしから下流の川中島平への犀川の氾濫被害に悩まされた人々が、洪水を川の中へ押し返し水害から守って欲しいとの願いを込めてまつたものです。写真の柳の木は長野市の保存林で、春には手前の桜並木も楽しめます。正月には「どんど焼き」、夏休みには子供たちの「虫送り」の行事の場となります。

慶応元年(1865)より、犀川沿岸の治水工事を進めた新津順治郎の遺徳を忍び、明治4年(1871)に建立。



犀川河川敷

スポーツ施設  
プール

トイレ  
駐車場

明確な駐車場はないが駐車スペースがある

イベント  
河原遊びのできるポイント

史跡・記念碑等  
史跡・記念碑等(川の関係)

美術館・博物館・資料館  
天然記念物

貴重な自然環境  
眺望のすぐれた地点



0 500m







## 善光寺周辺

JR長野駅から善光寺までは表参道で一本道。表参道の大門あたりから北は大正時代から残るレトロな建物や門前町風情の町並みが続く。高村光雲・米原雲海合作の阿吽の像が睨みをきかず仁王門から先は賑やかな仲見世が広がる。三門(平成19年まで改修中)をくぐれば善光寺本堂が堂々と迎えてくれる。

アクセス=バス: 長野駅より約10分/徒歩: 長野駅より約30分/車: 周辺の駐車場を利用



### 善光寺

善光寺は、日本最古の仏像である一光三尊阿彌陀如来を本尊と記る。宗派を問わず、全国から参詣者でにぎわう。



### 釈迦堂

仲見世通りから一本東側、東院通りの釈迦堂には、越後の浜から引きあげられたという靈仏の釈迦涅槃像(重要文化財)が安置されている。



### 善光寺・宿坊

善光寺の仲見世から中央通りへ続く参道には、昔ながらの土産物屋や宿坊が軒を連ね、門前町の雰囲気をも感じさせてくれる。



### 門前の町並み

大門から北は大正時代からの町並みが保存修景され趣深い。さらに先の仲見世は土産店が立ち並び賑やかな雰囲気。



## ◎千曲川河川事務所



ビッグハット

- 交通量が少なめ
- 交通が多め(歩くのは躊躇する)
- 一般車は通れない堤防道路
- 堤防からの降り口(車)

### ◎千曲川河川事務所 長野出張所

●川合新田体育館

河川敷内に農道はあるが、未舗装なので雨後はぬかるみ歩きにくい。堤防沿いにあるとは限らないので遠回りとなる。

源流の甲武信ヶ岳(2,475m)から138km流下してきた千曲川と、源流の檜ヶ岳(3,180m)から152km流下してきた屋川がここで落ち合い、ひとつの流れとなります。

### サンマリンながの

治水記念碑  
明治24年(1891)と31年(1898)の洪水時に、天皇が侍従に視察させ見舞いの言葉を下さった。視察、お言葉に対する記念碑。

水神祠  
共学社創立記念築堤之跡碑

落合運動場

- スポーツ施設
- トイレ
- 明確な駐車場はないが駐車スペースがある
- イベント
- 河原遊びのできるポイント
- 史跡・記念碑等
- 史跡・記念碑等(川の関係)
- 美術館・博物館・資料館
- 貴重な自然環境
- 眺望のすぐれた地点



# 小森の石土手



長野市篠ノ井の小森地先には、地元から「石土手」と呼ばれる千曲川を横断する石積みがあります。この石土手は千曲川の河道に石を積み、その流れを変えようとした江戸期の瀬直しの遺構と考えられています。寛保2年(1742)の「戌の満水」と呼ばれる大水害を契機に松代藩が行った千曲川の瀬直しは有名ですが、その上流でも瀬直しが行われていたことがうかがえ、治水史上貴重なものです。



発掘された石土手



千曲川に残る石土手

## 各施設へのお問い合わせ先

- 千曲川ふれあい緑地..... 千曲市更埴体育館 TEL026-273-0010
- 沢山川親水公園..... 千曲市役所 TEL026-273-1111
- 小島田運動広場・落合運動場・万年島運動場・  
屋島運動場・北屋島運動広場・犀川第一緑地・  
犀川第二緑地・西横田運動場・西寺尾運動場・  
更北運動場・犀川南運動場・若穂多目的広場 ..... 長野市体育課 TEL026-224-5083
- 裾花川緑地..... 長野市公園緑地課 TEL026-224-5054
- 千曲川リバーフロントスポーツガーデン..... クラブハウス TEL026-259-7358



国土交通省北陸地方整備局 千曲川河川事務所

〒380-0903 長野県長野市鶴賀字峰村74 TEL:026-227-7611(代表)

千曲川河川事務所 ウェブサイト

千曲川情報館 <http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>